

様式第2号（第5条関係）

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

事務局（菊地）	<p>それでは定刻となりましたので、ただ今から、令和5年度第3回久喜市野久喜集会所運営委員会を開会いたします。</p> <p>本日は、ご多用の中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、生涯学習課人権教育係の菊地でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、本日の資料の確認をさせていただきたいと存じます。</p> <p>〔資料確認〕</p>
事務局（菊地）	<p>続きまして、次第2のあいさつでございます。</p> <p>はじめに、武井委員長から、ごあいさつをさせていただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
武井委員長	<p>〔委員長あいさつ〕</p>
事務局（菊地）	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、柿沼教育長から、あいさつ申し上げます。</p>
柿沼教育長	<p>〔教育長あいさつ〕</p>
事務局（菊地）	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより本日の議事に入らせていただきます。</p>

議事進行につきましては、当委員会条例第6条第2項の規定により、委員長が議長となることになっておりますので、これから先の進行は武井委員長にお願いいたします。

武井委員長　それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

はじめに、本日の議事録署名委員の指名でございます。

今回は河西芳江副委員長にお願いしましたので、委員名簿順で金子正委員にお願いします。

武井議長　次第3の議事、(1)令和5年度野久喜集会所利用実績について、事務局から説明をお願いします。

事務局(白石)　〔事務局説明〕

武井議長　ありがとうございました。

ただいまの事務局からの説明について、ご意見やご質問等がございましたらお受けしますので、挙手にてお願いいたします。

はい、伊藤委員どうぞ。

伊藤委員　たいしたことじゃないんですけど、今後もあると思いますので直していただければと思います。

資料1の講座以外の利用者数の備考のところ、「区長会」というのがありますが、他にも特定の会議もありますので、ここは「行政区会議」とかですね、「区会議」とかっていうような表現のほうがよろしいかと思うんですけど。

事務局（白石） はい。ありがとうございます。

令和6年度第1回運営委員会におきまして、この数字が確定したものを委員の皆様にご提示させていただきますので、その際は修正をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

武井議長 はい、ありがとうございました。

他にございますか。質問がないようですので、次に進ませていただきます。

黒須委員 ちょっとすいません。

野久喜みずほの会ですが、令和4年度まではコロナの関係で集会所の利用が少なかったんですけども、令和5年度になりまして、いろんな事業が円滑に進み、参加者も多くなって、すごく親睦も図られた気がしました。武井先生のおかげもあると思います。

また、令和6年度もですね、内下集会所からの利用者も増えてくると思うんですけども、できればこのまま、親睦を深めるために集会所を利用できることを楽しみにしています。

この場を借りて、お礼申し上げます。ありがとうございます。

武井議長 ありがとうございます。

続きまして、（2）令和6年度教育集会所事業計画（案）についてです。事務局から説明をお願いします。

事務局（白石） [事務局説明]

武井議長 ありがとうございます。

ただいまの事務局からの説明について、ご意見やご質問等がございましたら挙手にてお願いいたします。

齋藤委員さん、どうぞ。

齋藤委員 先ほどの資料3で、カラオケ教室の参加人数が多く、講座時間内に歌える1人当たりの数が少なくなっているという問題提起がありましたけども、例えばカラオケ教室を内下集会所と合同でやるという前提になっていますと、さらにそれが顕著になってくると思うんですね。それをどういうふうに采配するのが1つ。

それからもう1つ、新しく輪投げ教室を設けるという話で、現在私どもの老人会でも自主的に輪投げをやっているんですけども、この用具などについては新規購入するという考え方でよろしいでしょうか。

以上です。

事務局（白石） はい。ご質問いただきました2点につきまして回答させていただきます。

まず、カラオケ教室でございますが、確かに下新井地区の皆様が新たに参加された場合に、人数が多くなる場合が想定されます。令和6年度の申し込み状況から参加者多数の場合は、講座の終了時間を延長する、二部制を導入するなど1人当たりの曲数をなるべく多くしたいと考えております。

2点目の輪投げ教室でございますが、こちらにつきましては、みずほの会にご協力をいただきまして、物品等につきましてはそちらから借用をさせていただくものでございます。

以上でございます。

武井議長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

齋藤委員　みずほの会では20名ぐらい参加しているんですよね、毎回。初めてのケースなので輪投げ教室にどのぐらい参加するか、下新井地区から何名ぐらい出てくるのかわかりませんが、人数が多くなるとそれだけチャンスが少なくなるということで、カラオケと同じような現象が出てくる。今1セットだけでやっているんで、それをもう1セット購入するとかね、何かしないと不満がまた出てきますので、それを考えていただきたいと思います。

事務局（小森谷）　生涯学習課長でございます。

機器とそれから周りの道具でございますけれども、なるべく皆様のものお借りして、足りない部分につきましては、内下集会所と統合という形でございますので、こちらで準備を進めていきたいと考えてございます。それはちょっと申し込み状況等を確認させていただきながら、改めて予算措置等でこちらの購入についても検討させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

黒須委員　輪投げの時間なんですけども、大体20名ぐらいで3ゲームやって、1時間ぐらいで終わるんですよ。だから割と回りがいいと思います。

武井議長　はい、ありがとうございます。他にございますか。

ないようですが、事務局から何かございますか。

事務局（白石）　資料4におきまして、皆様に来年度事業計画のうち、そば会についてのご説明をさせていただきました。そば会につきましては、本日も参加をいただいております運営委員の皆様の挙手を持ちまして、開催の可否の方向を決定してまいりたいと考えております。

そば会を実施する実施しないにつきまして、皆様から、何か今ま

での経験等を踏まえたお話などはございますでしょうか。なければ、これから挙手をもちまして、今後のそば会の開催の方向性を決定させていただければと思います。

武井議長 はい、伊藤委員さん。

伊藤委員 そば会ということは、そば打ちができる人が必要だと思います。その辺がどうか、どの地区から何人ぐらいそういう人がいて、お手伝いするのが何人ぐらい出るかという状況をちょっと教えていただきたい。なかなか我々に対応できるかどうか判断できないので、もう少し状況についてご説明いただきたいと思います。

事務局（武井） そば会を実際に行っていたのが、令和元年度まででございます。それ以降4年間行っておりませんので、このなかで知っている方だと、委員長、それから河西副委員長、黒須委員、松本委員、宮内委員、新井委員じゃないかと思います。大変お世話になりました。状況ということで、5分程度で簡単に説明します。

そばについては、今までは80人前のそばを作っていました。打ち方をお願いしたのが大体5名から6名で、かかった時間は3、4時間です。

そば会って言っていますけども、現実はその他に同じ量の80人前のうどんも作っています。ですから、合計で160人前を作っています。

当日にうどんとそばを両方はできないので、事務局で前日に半分ぐらいは作りました。そこまで皆さんにも実際にやってもらうと、大体6時間から7時間かかって集合時間が3時から4時になってし

まうので、それはちょっと無理なので、前日から作っていました。

それと、宮内委員さんを中心として、天ぷらを100個作りました。すごい大変でしたね。

それからお勝手関係を河西副委員長、配膳等を松本委員などが割り振って行いました。

ただ、最後の反省会のなかで、そばを打てる人をお願いしますと言うけれども、実際出ない。相当苦しいと。でも、これを決めてもらうのは、地元ということで、全て区長さん方をお願いするしかないんです。

それに、洗いもの、それからそばを湯がくとかうどんを湯がく人は朝からずっとそばばかりやっていますんで、相当苦しかったようです。

悪いことを言いますと、ご存じの人もいるかと思いますが、そばをずーっと3時間も打っていると、そばを食べたくなくなっちゃいます。そば打ちが終わったら、帰っちゃったという人も実際何人かいます。もういいって。これはそば打っている人だとわかるんですよね。粉吸っちゃって食べたくない。

確かにやること自体に大きな意義はあると思います。でも、こんな形でやってきていますから、私も「簡単ですよ」とは本音で言えません。区長さん方には大変苦勞をかけます。そばを打てる方を各区で2名ぐらいずつ、それから協力員さんを2名ぐらいずつ選出していただきます。

それから今回は、内下集会所の統合もありますので、大体そばが110から120人分。運営委員さんとか協力員さんが15名から20名、一般の方が20名来るかなと予想して、今までの80ですから、それに40足すと120。簡単な計算ですけども。それにう

どんを120足すと240なんで、とてもすごい量ですよ。普通のお店の倍ぐらい作りますね。

伊藤区長さん、大丈夫でしょうか。

伊藤委員 いや、見当がつかない。我々の区にそば打ちができる人がいるかどうか。

事務局(武井) 本当に、人員の選出は区長さん方をお願いするしかございませんので、その辺はですね、お含みおきください。

簡単ですけども、よろしくお願いします。

武井議長 はい、ありがとうございます。

他にどなたかご質問はございますか。はい、松本委員さん。

松本委員 そばを作るんじゃなくて、そば屋さんからそばだけ取って、天ぷらとかは揚げたりできますので、おそばだけでも取ってやることはできないでしょうか。そば粉買うんでもお金はかかるし、同じだと思っんですけどね。予算としても。

武井議長 そば屋さんじゃなくても、スーパーの茹でるだけとか。でも、やっぱり自分たちで作ったほうがいいような気もするんですけど。

宮内委員 前、齋藤幹雄さんの弟さんの哲男さんが区長さんだったときに、私のところに「そば打てる？」って電話かかってきて、「切れるけど打つことは自信ない」って言ったんですよ。それでどうにか探さなきゃいけない。日にちも迫ってて、すごい大変そうでした。

だから、打てる方が少なくなっちゃったんじゃないですか。うちのおばあちゃんたちの時には、ここで年2回やったって聞いているんですよ。おばあちゃんからも近所の方も。その年2回にも打つ人いっぱい行くんです。どの人も打てちゃうんですって。だけど、今は打てる方が少ないんじゃないでしょうか。それでみんな大変になっちゃっているんじゃないでしょうか。私も、人のことは言えません。打てません。

武井議長 ありがとうございます。小森谷さんどうぞ。

事務局（小森谷） 生涯学習課長の小森谷でございます。

皆様のご懸念と申しますか、同じようにですね、先ほど、内下集会所の運営委員さんと、このそば会についての意見交換をさせていただいてきたところでございます。内下の運営委員の皆様からは、野久喜の運営委員の皆様がやるということであれば、ご協力をいただけるというようなご意見を頂戴してまいったところでございます。

そのなかで、先ほど武井先生の方から、すごい大変だったっていうお話をいただいたんですけども、そういったことを踏まえて、今回事務局がどういう形で、皆様の負担を減らせるのかというところを、今検討してございます。

そういったなかで、そばを作るということは、もちろんそばを打って、切って、湯で上げてっていう形になると思うんですが、その切る部分をなんて言うんでしょう、昔うどんを切った機械とか、そういったものを利用したり、そういったものを借りてきたりして作る。もちろん手で切るのが本式、おそばを作るうえでは手で切ると

というのが本式だというのはよく存じ上げていますが、機械を利用することで、やったことない方でもできるような形をとろうなどということを検討しています。

それから、先ほどあったその天ぷらであるとか、そういったことをですね、これも含めてなんですけども、やるべきなのかどうか。そばとうどんだけでも十分大変だと思いますので、そこはですね、天ぷらは諦めるとかいったことも考えていかなくちゃいけないかなと思います。

それから、買ってくるっていうお話がありましたけれども、子どもたちが、今、そばやうどんを作っているところを見たりとか、やったことがないと思うんですよ。ここは教育集会所という施設でございますので、そういったことを、将来的には体験させてあげたいとか、作っているところを見せてあげたい。

そばを配るとというのが目的ではなくて、そういったものを作って、みんなで食べて、地域の交流が図られるっていうのが本来のこの野久喜集会所の教育集会所としての役割であると考えまして、まずはその今まで大変だったっていうのも、武井先生から私どもさん言われているので、うちにいるこの職員は全員そばを打てるようにしよう。そういう話を今しているところでございます。

私どもも、皆様の負担を全面的にお願いするというだけではなくて、もちろんご協力をさせていただいて、あるいは機械を入れるとかの工夫できることは、やらせていただきたいと思います。

内下の委員さんが初めてこちらに来て、皆さんと一緒にそばが打てたり、うどんが打てたりと、地域交流の機会になるんじゃないかなと考えて、今回事業計画に入れさせていただいたところでございます。

多分100点はとれないかなと思っ​て​いま​し​て、​ま​ず​は​1回​や​ら​せ​て​い​た​だ​い​て、​そ​こ​で​の​反​省​を​踏​ま​え​て​次​の​ス​テ​ッ​プ​に​踏​ま​せ​て​い​た​だ​き​た​い​と​い​う​ふ​う​に​考​え​て​お​り​ま​す​の​で、​そ​う​い​っ​た​も​の​を​踏​ま​え​て、​皆​様​に​ご​意​見​を​い​た​だ​け​ら​れ​ば​と​い​う​ふ​う​に​考​え​て​お​り​ま​す。

武井議長 ありがとうございます。黒須委員さん、どうぞ。

黒須委員 私もコロナ禍に入るまでの何年間かそば打ちの手伝いをさせてもらいました。このそば会については、武井先生無しには語れないぐらい武井先生の力が必要だったんです。そのおかげでこれまでやってこられました。

あと、下新井地区の協力者っていうのはかなりベテラン、プロに近い人が結構いるんですよ。すごくおいしいそばを食べさせてもらったことがあるんですけども。

また、野久喜集会所で今までやってきたなかでは、各4地区の区長を中心にですね、枠外協力を呼びかけてやってこられたんですけども、作る大変さの代わりに喜びっていうか食べてもらっておいしいとかね。そういう言葉を言われるとやっていた疲れが飛んじゃうっていうくらいな感じで。

何も4地区で2人とか決めた人数じゃなくても、例えば40区にそば打ちできる人が3人いるよとなれば、そういう確保できるなかで、いろんな話を交えてそばを作るっていうのが、一つの魅力でもあるので、できることなら、皆さんお手を挙げていただきたいと思っています。

以上です。

武井議長 ありがとうございます。

他にございますか。伊藤委員さん、どうぞ。

伊藤委員 心配でご質問させていただいたんですけど、手づくりでのそばが一番うまいと私は思っているんですよ。いくら有名なそば屋さんで食べるそばでも、地元のそば粉を使って自分たちで作るそばとは全然味が違うんですね、そばの味が。そばの本当の味がするという意味では。私もやってみようと思って、1・2回チャレンジしたことがあるんですけど、そばの形をしない、もうそれこそご飯みたいな形。でも、そば自体はそれでおいしいんです。そば屋さんで食べるより、そういうそばの方がおいしいと私は思っているんですけど、そういう意味で、本当にそばを打てる人、人数が集まらなくても、そばを打ってみようという気持ちがある人が集まって、少しずつ力をつけていく。そして、そば会を盛り上げていくということも必要なのかな。勉強しながら充実していくということでもいいんじゃないかなというふうに思います。

武井議長 はい、ありがとうございます。

話はいろいろと出ると思うんですが、なかなか今までのコロナの関係で、全体的に初めてやるっていう方が増えると、確かに大変には大変なんですよね。事務局の力っていうところも出てくるでしょうし、やり方も一からという形になりますので。

これから皆さんに、そば会を実施するか否かを聞く前にですね、やるという方向になったときに、各区からそば打ちができなくてもやってみたいんだっていう人を、この開催日までに、この集会所を

利用して、教室みたいな形で一度経験させて、本番を迎えるという案はどうかとちょっと思ったんですが、そういうのは入る余地はないでしょうか。

事務局（白石） はい、ありがとうございます。

コロナ禍前はですね、そば打ち教室というものをやっておりました。年に1回だったと思うんですけども、そばを打ちたいという方であったり、あとは事務局がですね、そば会に備えてなのかわからないんですけども、実際そういったものをやっておりました。

コロナ禍に入り、飲食を避けるということもありましてやめてしまった事業ではあるんですけども、実際、そば会をやるという方向で決まった際に、そういったご要望がございましたら、それは新たに事業を追加することを検討したいと考えております。

武井議長 はい、ありがとうございます。

それではですね、この令和6年度のそば会について、実施するかどうかのことですが、実施する方向の方は挙手をお願いしますでしょうか。

【全員挙手】

武井議長 全員でございますので、そのように事務局の方には報告したいと思います。ご協力ありがとうございます。

何かと大変になると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。事務局よろしいですか。

事務局（白石） はい、ありがとうございました。

本日の運営委員会の結果を踏まえまして、令和6年度事業計画におきましては、そば会を実施する方向で進めさせていただきます。

また、その他の事業につきましても、本日の議事を踏まえた修正等を加えまして、地区の皆様にお配りをさせていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

武井議長 それでは、(3)その他について、事務局から説明をお願いします。

事務局(白石) [事務局説明]

武井議長 ありがとうございます。

これにて、本日の議事はすべて終了しましたので、議長の任を解かせていただきたいと思います。

ご協力をいただきましてありがとうございました。

事務局(菊地) ありがとうございます。

それでは、閉会にあたり、河西副委員長から閉会のごあいさつをお願いいたします。

河西副委員長 本日は、皆様のご協力のもと、会議を滞りなく進めることができました。ご協力、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第3回久喜市野久喜集会所運営委員会を閉会させていただきます。

本日は、大変お忙しい中、ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和6年3月27日

委員長 郎井逸郎

署名委員 金子正

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。